

ボランティアの方々に支えられて



東部療育センター

「アンビシャス広場委員会」の皆さんは、子どもたちの笑顔を見守ることを目的として、幅広く活動されています。東部療育センターでも、園庭まわりの植樹の剪定、焼き芋会のお手伝い、お正月には手作りの門松を飾っていただくなど、ご協力いただいています。

現在、センター周辺には植栽していただいた440株のマリーゴールドの花が咲いており、道行く人達を和ませています。代表者の駒井さんは「種から手間暇をかけて育てた花が花壇で綺麗に咲いているのを見ると、すごく嬉しいです。センターに通園する子どもや保護者さん、通りすぎる人たちに美しい花を見てもらい、心安らぐように工夫や手入れをしていきたいです。」と話されていました。



▲ アンビシャス広場委員会の皆さん

西部療育センター

西部療育センターのボランティアの皆さんは、「子どもたちや保護者のお手伝いができれば…」という思いから、様々な活動をしていただいています。

【 布ボランティア 】

裁縫などで、療育グッズの製作や修繕などをしていただいています。子どもたちや保護者と直接触れ合う機会は少ないですが、ボランティアさんの愛情いっぱいのおもちゃは子どもたちに大人気で、子どもたちを笑顔にしてくれます！



▲エプロンシアター



▲芋ほりごっこ



【 託児ボランティア 】

親子通園の保護者の方が昼食をとられている間、子どもたちと遊んだり、お昼寝したりして過ごしていただいています。保護者との分離経験が少ない子どもたちも安心して過ごすことができ、保護者の方にも喜ばれています！



【 企業ボランティア 】

ここ数年は新型コロナウイルス感染症の影響で、活動が難しい時期もありました。そんな中でも、5年以上活動をしていただいている「アラジン」の皆さんは毎年、通園の子どもたちにクリスマスにプレゼントを届けてくださっています。いつも子どもたちは大喜びです！

ありがとうございます！



西部・東部療育センターの他にも、事業団は多くのボランティアの皆さまに支えられています。ボランティアの皆さまおかげで、子どもたちが安全に安心して園生活を送ることができています。この場を借りてお礼申し上げます。